

第2回 ブリッジ研究会

第2回

2018.02.12 乳がん

① 乳がんの基礎知識



赤羽 和久 あかはね かずひさ
赤羽乳腺クリニック 院長

【略歴】 1996年3月 産業医科大学卒業
 1996年6月 北九州市立医療センター 外科
 1997年4月 産業医科大学 第一外科
 2002年4月 東海旅客鉄道株式会社 (JR東海) 入社 専属産業医
 2005年4月 中部ろうさい病院 外科
 2010年10月 名古屋大学腫瘍外科 医員
 2011年10月 愛知県がんセンター愛知病院 乳腺科
 2013年7月 名古屋第二赤十字病院 一般消化器外科
 2017年5月 赤羽乳腺クリニック 開業

【メッセージ】

がん患者を取り巻く社会全体で、就労・両立支援が一大ブームのように叫ばれるようになりましたが、実際に必要な支援は患者さんまで届いているのでしょうか？医療現場では、あるいは職場では問題なく支援が行えているのでしょうか？「がん」といっても、そのがん腫や発生臓器、治療法など様々であり、また、それを受ける患者背景も多岐に渡ります。がん就労においては非常に個性が高く、すべてケース・バイ・ケースで対応する必要がある点に難しさがあります。今回は乳がん治療を例にがん患者の就労支援について共に考えたいと思います。

② 乳がん体験者の就労での困りごとを知る

③ グループディスカッション&全体共有

医療×労働×職員の多様性の構築

ブリッジ 第2回研究会

乳がんとも ともに働く

2018年 2月12日 (月・祝) 13:30~16:30
ウィングあいち1208会議室

昨年2月に厚生労働省より「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が発表されました。今まで医療の側で議論されることの多かった「がんと就労」の問題は、実際に労働の現場でどのように治療と共にある労働者を受け入れるのかを検討するフェーズに移ってきたと言えます。つまり今こそ医療従事者と企業関係者が垣根を越えて情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することが求められているのです。

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、各領域をつなぐ場を設け、各回1テーマで専門の立場からのレクチャーと会場のディスカッションで構成する研究会を昨年よりスタートしました。2回目のテーマは乳がんです。若年でありやすいがんの代表格でありながら、性差があるために会社で関わる際にハードルが高いと思われるがん種でもあります。だからこそ、ぜひこうした場でしっかり考えてみませんか？さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体性のある方策を共に見出していくコミュニティとして発展することを願っています。

- 対象 医療関係者・企業関係者・両立支援関係者
- 料金 ブリッジ会員：無料 非会員：2,000円
※当日の入会も可能です
- 定員 36名
- 申込 <http://kokucheese.com/event/index/499936/>
※ブリッジHPからもリンクします 仕事 治療 ブリッジ
- 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ
- 後援 愛知県、名古屋市、名古屋医師会